

平成 17 年 8 月期 第 1 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 12 月 22 日

上場会社名 株式会社有線ブロードネットワークス
（コード番号：4842）

上場取引所 大阪証券取引所(ヘラクレス)

（URL <http://www.usen.com/corporate/>）

問合せ先 代表者役職 氏名 代表取締役社長 宇野康秀
責任者役職 氏名 常務取締役管理本部長 佐藤英志 TEL：(03) 3509 7112

1 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2 平成 17 年 8 月期第 1 四半期の業績概況（平成 16 年 9 月 1 日 ~ 平成 16 年 11 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切捨て表示)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年8月期第1四半期	33,131	55.2	2,042	810.5	1,136	186.1	813	-
16年8月期第1四半期	21,342	5.8	224	63.3	397	-	-	-
(参考)16年8月期	121,913		5,616		4,605		1,718	

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年8月期第1四半期	12	88	-	-
16年8月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年8月期	278	54	277	70

- (注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。
2. 前年同期の四半期純利益、1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については開示していないため記載しておりません。
3. 当四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、四半期純損失が計上されているため記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期連結会計期間（自平成16年9月1日至平成16年11月30日）における当社グループは、既存事業における市場シェアの向上と光ファイバブロードバンド事業における、集合住宅への早期入線と顧客獲得に注力してまいりました。情報通信分野においては、前期に引き続き、ブロードバンドサービスのユーザー数は順調に増加しており、より高速な通信サービスに対する需要は拡大傾向にあります。このような状況の中、当社グループにおける新たな構想として、優良なコンテンツをあらゆる顧客に対していつでもどこでも提供する「デジタル・コンテンツ・プラットフォーム」構想を公表いたしました。また音楽、映像等の優良コンテンツの保有や配信技術等の確保を目的として様々な資本・業務提携を行い、これからの情報社会に向け、新たな事業の発展を図っております。

当第1四半期連結会計期間の業績は売上高33,131百万円（前期比55.2%増）、営業利益2,042百万円（前期比810.5%増）、経常利益1,136百万円（前期比186.1%増）となりましたが、不要線撤去費の前倒しを実施したこと等により特別損失3,188百万円を計上したため、第1四半期純損失は813百万円となりました。

なお、業績につきましては、当初の予定通り推移しております。

各事業別の業績は次のとおりです。

<放送事業>

放送事業の売上高は 15,810 百万円（前期比 3.3%減）となりました。有線放送市場は、飲食店等の業務店数が減少していることから、マーケットは縮小傾向にあります。依然として、市場における圧倒的なシェアは保持しております。個人市場においては、通信衛星によるデジタル音楽放送サービス「SOUND PLANET」が好評を頂いており、ユーザー数の増加傾向は継続しております。平成 16 年 11 月には、モバイル放送(株)へ、移動体向け衛星マルチメディア放送サービスとして、音楽番組コンテンツの供給を新たに開始しており、未開拓であった移動体向けの市場へも事業を拡大しております。

<ブロードバンド・通信事業>

ブロードバンド・通信事業の売上高は 4,838 百万円（前期比 108.7%増）となりました。当第 1 四半期連結会計期間末現在において、当社グループの提供する光ファイバー・ブロードバンドサービスのユーザーは、契約者数 346,494 件（前期比 85.6%増）、取付数 214,571 件（前期比 92.0%増）となっており、順調に推移しております。当社グループのブロードバンド事業は、首都圏及び全国の政令指定都市における人口密集地をサービスエリアとし、集合住宅と中小法人を主なターゲットとしております。集合住宅においては、ADSL よりも安価な価格設定をとったサービス『BROAD-GATE01』により、新規ユーザーの獲得を増加させると同時に、1,200 万人を超える ADSL ユーザーからの FTTH への回線乗換えの促進に注力しております。法人顧客においては、自社営業のみならず各種の販売パートナーを通じて、顧客開拓を行っております。また、光ファイバーを利用した IP 電話サービス『GATE CALL』及び中小法人向けの『FT フォン』は、電話回線を使用しないため、ユーザーにとっては他社の展開する IP 電話よりもトータル通信コストの削減効果が期待できることから、加入者は順調に増加しております。

ブロードバンド市場の普及拡大に伴い、ユーザーのサービス認知が向上しており、今後は、コンテンツサービスへのニーズが増加してくると認識しております。

なお、従来「インターネット事業」として区分しておりましたクーポン情報検索サイト「タウンピタ」の運営、サーバーホスティングサービス、インターネット通信販売システムの販売事業及び「その他事業」に含まれておりましたマイライン・サービス等の電話事業につきましては、ブロードバンド事業との関連性が強くなったためブロードバンド・通信事業として区分することと致しました。

<カラオケ事業>

カラオケ事業の売上高は 11,181 百万円（前期比 1,657.4%増）となりました。前第 2 四半期連結会計期間より、(株)ユーズ・ピーエムビー エンタテイメント（平成 17 年 1 月 1 日より(株)BMB へ社名変更）を連結子会社化し、売上、利益の大幅な増加に貢献しております。カラオケ機器市場は、景気後退による飲食店等の業務店の減少等により事業環境は厳しい状況が続いておりましたが、既に市場に設置されているカラオケ機器の入れ替え需要期を迎えていることから、ビジネス拡大のチャンスであると認識しております。今後は、中国市場への進出やカラオケルームの新規出店により、事業拡大を図ってまいります。

<店舗事業>

店舗事業の売上高は 746 百万円（前期比 2.3%増）となりました。当第 1 四半期連結会計期間末時点にお

ける店舗数は、『アフリカ』『コロニアルリビング』等レストラン系店舗が9店舗、フランチャイズ本部加盟店舗が9店舗となっております。店舗事業は、店舗の運営を通じて得られた最終消費者のニーズを活用し、業務店におけるサービスの向上を目的に事業を運営しております。

<その他事業>

その他事業の売上高は554百万円（前期比35.0%減）となりました。その他事業は、放送事業の業務店顧客に対し、店舗運営の支援となる商材やサービスの提供を行っております。具体的には、各種音響・映像機器の販売や設置等があります。

(2)財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年8月期第1四半期	243,505	28,377	11.7	449 14
16年8月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年8月期	224,743	26,707	11.9	4,295 96

(注)1. 前年同期の総資産、株主資本、株主資本比率、1株当たり株主資本については開示していないため記載しておりません。

2. 当社は平成16年9月21日付で株式1株を10株に分割しておりますが、16年8月期の1株当たり株主資本につきましては、当該株式分割に伴う影響を加味しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ18,762百万円増加の243,505百万円となりました。流動資産が、主として現金及び預金17,509百万円減少、前払費用1,797百万円増加等により前連結会計年度末比7,793百万円減少いたしました。また、固定資産は主として投資有価証券14,884百万円増加等により前連結会計年度末比26,561百万円増加いたしました。

負債に関しましては、主として短期借入金15,388百万円増加、長期借入金7,012百万円増加等により前連結会計年度末より17,370百万円増加し、206,993百万円となりました。

また、株主資本については1,669百万円増となっております。主として、第三者割当増資によるもの2,999百万円、及び第1四半期純損失が813百万円となったことによるものです。

3 平成17年8月期の連結業績予想（平成16年9月1日～平成17年8月31日）

	予想売上高	予想営業利益	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期	70,000	3,500	2,500	500
通期	150,000	10,000	8,000	2,000

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 32円17銭

1株当たり予想当期純利益につきましては、平成16年9月21日に行った株式分割が期首に行われたと仮定して算出しております。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成16年10月22日に発表いたしました通期業績予想に変更はありません。

通期業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4 四半期 事業部門別販売の状況

	17年8月期第1四半期 (当四半期)		対前年 同期増 減率 (%)	16年8月期第1四半期 (前年同四半期)		参 考 前期(通期)	
	金額(百万円)	構成比(%)		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
放 送 事 業	15,810	47.7	3.3	16,345	76.6	63,884	52.4
ブロードバンド・通信事業 (1)	4,838	14.6	108.7	2,318	10.9	12,902	10.6
カラオケ事業 (2)	11,181	33.7	1,657.4	636	3.0	37,562	30.8
店 舗 事 業	746	2.3	2.3	729	3.4	2,951	2.4
インターネット事業 (1)	-	-	-	460	2.1	1,709	1.4
そ の 他 事 業 (1)	554	1.7	35.0	853	4.0	2,901	2.4
合 計	33,131	100.0	55.2	21,342	100.0	121,913	100.0

- 1 インターネット事業及びその他事業に含まれておりました電話事業につきましては、ブロードバンド事業との関連性が強くなったためブロードバンド・通信事業として区分することと致しました。この結果、従来の方法によった場合に比べ、ブロードバンド・通信事業の売上高は1,750百万円増加しております。その内訳としてインターネット事業より366百万円、その他事業より1,384百万円となっております。
- 2 前第2四半期連結会計期間より、(株)ユーズ・ピーエムピー エンタテインメントを連結子会社化しております。

5 役員の異動

日付	氏名	新役職	旧役職
平成16年12月1日付	住谷 猛	取締役、コーポレート本部長兼関連事業本部長	取締役、コーポレート本部長兼人事総務部長兼関連事業本部長

以 上

添付資料

- ・ 四半期要約連結貸借対照表
- ・ 四半期要約連結損益計算書

四半期連結財務諸表

四半期要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第1四半期連結会計期間末 平成16年11月30日現在		前連結会計年度要約連結貸借対照表 平成16年8月31日現在	
		金 額	構成比	金 額	構成比
			%		%
(資産の部)					
流動資産					
1	現金及び預金	30,195		47,704	
2	受取手形及び売掛金	15,523		15,191	
3	たな卸資産	5,206		4,287	
4	前払費用	8,579		6,781	
5	繰延税金資産	2,561		2,538	
6	その他	14,524		7,747	
7	貸倒引当金	648		515	
	流動資産合計	75,943	31.2	83,736	37.3
固定資産					
1	有形固定資産				
	(1) 建物及び構築物	31,610		31,728	
	(2) 機械装置及び運搬具	3,054		2,635	
	(3) 工具、器具及び備品	1,876		1,621	
	(4) 賃貸用機器	7,532		6,735	
	(5) 土地	37,487		37,583	
	(6) 建設仮勘定	4,057		4,168	
	有形固定資産合計	85,619	35.2	84,473	37.6
2	無形固定資産				
	(1) 営業権	5,020		5,479	
	(2) 借地権	1,919		1,919	
	(3) ソフトウェア	1,754		1,472	
	(4) 連結調整勘定	16,686		9,012	
	(5) その他	643		424	
	無形固定資産合計	26,024	10.7	18,308	8.1
3	投資その他の資産				
	(1) 投資有価証券	25,794		10,910	
	(2) 出資金	1,561		1,573	
	(3) 長期貸付金	6,313		4,458	
	(4) 破産債権、更生債権等	3,372		3,551	
	(5) 保証金	5,622		5,378	
	(6) 繰延税金資産	7,405		7,375	
	(7) その他	11,414		10,739	
	(8) 貸倒引当金	5,610		5,814	
	投資その他の資産合計	55,873	22.9	38,173	17.0
	固定資産合計	167,517	68.8	140,955	62.7
	繰延資産	44	0.0	50	0.0
	資産合計	243,505	100.0	224,743	100.0

科 目	期 別	当第1四半期連結会計期間末 平成16年11月30日現在		前連結会計年度要約連結貸借対照表 平成16年8月31日現在	
		金 額	構成比	金 額	構成比
			%		%
(負債の部)					
流動負債					
1 支払手形及び買掛金		8,790		6,608	
2 設備等支払手形		1,016		1,387	
3 短期借入金		19,533		4,145	
4 一年以内償還予定社債		1,900		1,300	
5 一年以内返済予定長期借入金		20,705		28,617	
6 未払金		11,942		13,866	
7 未払費用		2,867		3,672	
8 未払法人税等		173		283	
9 前受金		6,800		7,423	
10 賞与引当金		2,126		1,071	
11 債務保証損失引当金		46		45	
12 その他		2,301		1,793	
流動負債合計		78,205	32.1	70,215	31.3
固定負債					
1 社債		30,500		27,400	
2 長期借入金		79,825		72,813	
3 長期未払金		10,390		11,768	
4 退職給付引当金		7,214		6,803	
5 その他		857		623	
固定負債合計		128,788	52.9	119,408	53.1
負債合計		206,993	85.0	189,623	84.4
(少数株主持分)					
少数株主持分		8,134	3.3	8,412	3.7
(資本の部)					
資本金		21,964	9.0	20,464	9.1
資本剰余金		13,558	5.6	12,058	5.4
利益剰余金		6,585	2.7	5,771	2.6
その他有価証券評価差額金		344	0.1	12	0.0
為替換算調整勘定		50	0.0	50	0.0
自己株式		164	0.1	5	0.0
資本合計		28,377	11.7	26,707	11.9
負債、少数株主持分 及び資本合計		243,505	100.0	224,743	100.0

四半期要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第1四半期連結会計期間		前連結会計年度要約連結損益計算書	
		自 平成16年9月1日 至 平成16年11月30日	構成比	自 平成15年9月1日 至 平成16年8月31日	構成比
		金 額	%	金 額	%
売上高		33,131	100.0	121,913	100.0
売上原価		16,358	49.4	60,098	49.3
売上総利益		16,772	50.6	61,814	50.7
販売費及び一般管理費		14,730	44.4	56,198	46.1
営業利益		2,042	6.2	5,616	4.6
営業外収益		261	0.8	2,967	2.5
営業外費用		1,168	3.6	3,977	3.3
経常利益		1,136	3.4	4,605	3.8
特別利益		1,550	4.7	15,957	13.1
特別損失		3,188	9.6	28,662	23.5
税金等調整前四半期(当期) 純損失		501	1.5	8,099	6.6
法人税、住民税及び事業税	75			197	
法人税等調整額	30	105	0.3	679	0.4
少数株主利益(損失)		205	0.7	9,336	7.6
四半期(当期)純利益(純損失)		813	2.5	1,718	1.4